



あやめ



in「一期一会」

文責：生徒指導主事 櫻本直弘

授業の様子はいかがでしたか

2月18日(水)5・6校時の時間帯に1・2年生の授業参観&PTA学年部会が実施されました。1年生は各教室に弁護士の先生を招き、いじめ予防の人権教室を行い、2年生は被爆体験の伝承活動をされている石倉誠さんを講師に招き、体育館で修学旅行に向けた平和学習を行いました。

「尊い生命」そして「平和な空間」…。どちらの学年にも共通したテーマだと思います。また、混沌としたこの時代だからこそ大事にすべきテーマだと思います。今回講師の先生方から学んだ内容は本当に「貴重な財産」になったはずです。これをいかに「身近な問題」として捉え、**普段の生活に生かしていくのか**…。そこが大事だと思います。

授業参観終了後、それぞれの学年でPTA学年部会が行われました。今年度の学年経営の総括や会計報告等、1年間を振り返ると同時に来年度の行事(特に来年度4月実施の修学旅行については詳しく説明がされました)などについての説明が行われました。保護者の皆様にはご多用の中にもかかわらず多くの方々にご出席いただきました。本当にありがとうございました。来年度も是非よろしくお願いたします。





アスリートから「姿勢」を学ぶ

今、イタリアの地でミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開催されています。日本代表選手たちの活躍は目覚ましく、これまでの冬季オリンピック史上最多のメダル数を獲得しているそうです。連日のように選手たちのインタビューが各メディアで報道されていますが、その内容にはある共通点が見られます。それは、どのアスリートも必ずといっていいほど「**支えてくださる方々や応援して下さる皆様に対する感謝の言葉を口に**する」ということです。「自分一人ではオリンピックの舞台にすら立てなかった…。」「周りのサポートがあったからこそ自分が輝くことができた…。」そんな「**謙虚**」な姿勢が伝わってきます。



私たちの生活も、様々な場面で誰かに支えられています。自分一人ではできないことなど本当に限られています。しかし、その事実になかなか気づかず、あたかも自分ですべてを解決していると思込んでいる人もいますよね。

例えば皆さんの普段の生活に置き換えてみてください。朝夕の車での送り迎えは誰がしてくれていますか？毎日持参する水筒は誰が詰めて、誰が洗ってくれていますか？その靴、その服は誰が買ってくれたのですか？悲しい時に誰が励ましてくれましたか？こういった日常の様々なことも誰かの支えがあって初めて成り立っています。しかし、私たちはそれに対して「謙虚」な姿勢で「感謝」ができていますでしょうか。「**当たり前のように身の回り**にあるからこそ、その『有難さ』に**気づかない**」ってこと結構ありませんか。

「**当たり前**に生活ができる幸せ」「それを支えてくれている**周囲の存在**」そんなことをぜひこの機会に考えてみてください。（当然自分自身にも問いかけているつもりです。）**常に謙虚であれ。当たり前**の状況に**感謝できる人であれ**。そしてその**感謝を素直に表現できる人であれ**。

※特に3年生は、人生の「**節目**」を迎える時期です。義務教育課程を修了し、立派な大人へと成長するひとつのステップとして今回の内容を捉えてくれると嬉しいです。

